



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

卷之三

名前は裏面に記入してください

3 / 16

今日、原爆の話を聞くと、自分で原爆に対する、とても恐ろしいと、酷いと
といつて、併せて、具体的な被害や、詳しい話を聞いて知らないが、でも、知る
ともいいのか。で、戦争や原爆は、うるさいこと、悪いこと、だからもうしてはいけ
ない、で終わってしまう。で、たとえ被爆した人の話（被爆者の話を元にこ
の話を聞いて改めて、酷いと伝わった。手をつかう（＝「手」）は、落
ちる、全身が黒づけになら、そして自分では考へられない、死んでしまった。
想像をはぶかに上回るもので、被爆をした人は一生分からぬものだ」と思う。
それにも、原爆は多くの人の被害でござり、後遺症として多くの被爆者を
生む事も、多く苦めていたということを知り、原爆は歴史を命綱も断
たる程の大惨劇だ。戦争は、国と国との争い、それが何の關係もない
国民や子供も死んでしまう達成され、それが命を落とした人たちは本
当に、任せ自分で、こう思って、いっぱいいたと思ふ。昔、原爆
が起きた当時は、ウラン60kgの方1kgの威力だと云はれていた。今、技術
で、これは1000倍の威力があると作るとか云って、現在まで1万
5000枚も掉る。本当に本当の恐ろしいと云ふ思ふ。日本で行
って世界中の99%の人々が、知っていると思ふ。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私は、今回の原爆先生の授業を聞いて、思ったことは、
最後の一言「こんな、きれいじゃなし」が、とても重く感じま
した。

本当の生きじとや、その時の思ひかんじは違う。

その時その場の人々しか分からぬいいし。

それを、言葉にするのの大すかじ。

それは、なんとかなくなりと、少し分かった気がする。

私の祖父は、戦争時の、かくとうさかいなしけんじで、
その話をきいた時、祖父は、どう言葉にすればいいのか、
とてもいぶんでいたようですか。

自分の上空に（ひとうま）かどんでは飛ぶ。

それがいいとしたことは、生活や、

それだけでの、いいめどりを、

生々しく話してくれました。

私は、この今日それをとて、祖父のまたとて、

自分が、後世につなげていければいいと、

思っています。



じゅこう 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

今回、原爆先生のお話を聞いて、改めて「戦争は恐い」ということを感じました。私は前に戦争のマンガを読んだり、テレビで戦争についての番組を見たことはありますけど、くわいい話を聞いたのは初めてでした。中でも、私は原爆弾が投下された後の人々の話が印象に残りました。ひどいやけどを負った人や、皮膚がたれ下がっている人、肉がはがれてきてしまっている人など、とてもひさんな様子が分かりました。お話を聞いているだけでも、とても怖いのに、実際そのような場面を見た人々は私たちが想像しているよりもっと残虐で悲しい思いだったんだろうと思いました。

実際に被爆しただけでなく、たくさんの人々が悲しいつらい思いになりました。いつまでも消えないということが分かりました。これからもこのような悲劇がおこらないように、後の人々にも伝えたいです。

また、今度行く原爆ドームや平和記念公園でも、戦争を学びたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

卷之三

名前は裏面に記入してください

3 / 16

私が最初に思ったのは"ニホン"という気持ちでして。"A,B,C"T=7
れるや、顔がほれただや"や"カミ"虫か"ゆうと私は"みて
らせ"てはトライしてますエラフタニセモトをいつて、とても二
かと感じました。それまで"平和に暮らしていく"T=7
一瞬でその幸せをうばはしまつたんと、ひどいし、ニホン
ニセT=7と思ひました。原爆T=7に話をきいて"けで"ニホン
の(=実際)はそんなことや"あえてその経験をして人たちはもつ
と恐怖におひえで、ニホンで、痛くて、あつくて、私たは、T=7
絶えられよ」と思ひ、顔にやけけてしてたら、もう死T=7
と思ひにしきうと思ひます。自分の原爆を実際に経験した
人のことを思うとすごくじか痛むし、原爆をおとして=とを
絶対やせません。人が何人も死んで何人も苦しくて辛い思い
をするのにちがうとしてケニアからいにしか思ってない人たちが
いることをとても悲しく思ひました。私は今回の授業でT=7
<大人の人や>で、苦しそうなことをアリ、原爆のことを
知って、まじでT=7で"もとも苦しかったし、じか痛みまし
T=7で"もういいやとか"あつたんT=7を知っても勉強にも
なったのや、だからT=7で"も。これからは自分は幸運T=7"といふ
とを忘れず"日々"T=7りたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私は今回、原爆先生の話を聞いて初めてこの事がたくさんでビックリしました。私が一番印象に残ったのは、広島に原爆を投下した時にトラックで市街を通った時助けを求めて来たという話です。私は助けたくても助けられず、手をさしあげても、やけどのせいで「皮膚がはがれてしまうなんて私には悲しくて人が生き生き苦しむのを見なければいけない立場だったから私にはたえられないと思ひます。被爆を合わされた方々はすごい、つらくて苦しいけど見て見ぬふりをしながらはなりなさい方も本当につらいと思いました。投下された爆弾は7000℃も熱く私には考えられないです。電車なども骨組しか残っていないんで人間に当たったら悲さんだなと思いました。最近では戦争についてあまり知られなくなっているけど、戦後から60年たった今でも、原爆先生のような方がいらっしゃる。10年、20年後も後世にわたって戦争の事を知っていてほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

僕が原爆先生の特別授業を受講して
思った事は、原爆の被爆者と死者の数の多
さに驚きました。人口 35万人のうち死者が14
万人もいるなんてありえないと思ひました。
けれど、話を聞いていよいようちに、原爆の被害
の大ささを知り、ウラン 60kg を原爆につめて
いて、そのうちの 1kg が核分裂をしたというが、
もし、そのうちの全て(60kg)が核分裂をしてい
たら底に大きな穴が開いて、他の町にまで
被害がおよんでいたと思ひます。
また、爆発したときの範囲 200m の中に
温度が 100万度と知った時は、びっくりしまし
た。表面温度でも太陽の 6000°C を超えてい
るのに、100万度という熱の熱さに驚きました。
僕は今回の特別授業を受講して、
とても良かったと思ひます。この話を忘
れず、広島に行つた時にまた思い出しても
実際に原爆トーナーを見て、目に焼きつけ
たいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

原爆のうちた音とか本当に悪い予感がしたし
先生がさおんを大きな声で言つた時はすごい
驚いて、とりはだがたち、この場が緊張感で
い、ぱいになり正直苦しかったです。

10才くらいの男の子がいた話では、家族の大切
さやその男の子が体験した不安や苦しが伝
かりました。池田義三さんが目をそむけてしま
たいという思いなどは自分がその場にいたら思わず
目をそむけてしまうと思います。ですが池田義三さんは
目をそむけたいにも、そむけられない現状にかなり
おいつめられていたと私はそう感じました。

この原爆先生は他の中学校とかも、と広げたほう
が良いと思いました。なぜなら学校行事とかで
原爆ドームをおとずれる中学校も多いと思うん
ですけど原爆ドームに行ついたうとかで平和学習
を終つたら、その辛さがしかりと後世に伝わらなければ、
この悲しさをくり返す事になると思うからです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

今回の授業で、原爆の残虐さや苦しさを深く知る事が出来ました。今までの“原爆ではたくさんの方が亡くなっています”という表面的なことしか知らなかつたけれども、”顔が赤く汗上がり”や、”手を引くと皮剥がれかかる”という表現には口ひきや痛々しさを感じ、当時のリアルな場面が頭に浮かんだので、その怖さを具体的に、鮮明に知る事が出来、自分がもしあの場面にいたら、絶対逃げたりしないだろうものだったのだと深く感じました。

また、爆弾の威力や被害について聞いて、”人を殺すためにこれだけのものを作ってどう人達に対する疑問や怒りをもち、罪もなく死んでいった国民党がどうもかわいそうだと感じました。

私は来年、修学旅行で広島を訪れたときには、今回の講話の話を忘れず、さらに戦争や原爆についての理解を深め、何事でも後世に伝えていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3 / 16

昔、広島とが長崎で“すごい”とか“あったんだ”、ということは前から知っていましたが、今回の話を聞いてより深く分かったと思います。今回の話で一番印象に残ったことは、池田義三さんが“広島中心部行くさいの”ことです。“人の姿をしていなかった。”ということにすごく衝撃を受けました。人が、人の姿ではない、ということはどういうことか、私にはよく分からずいて“ああ、想像するととてもひさんだ”た、“ということは分かったような気がします。トラックに被爆者を乗せようとして、手をさしおべたのに、そのせいで、被爆者が“痛がっているのを見るのはとてもつらかった”“ううな、と思いました。人が、手を右側がめ前にして、その姿は「トエ」と言って良いものにはとうていなりきれなく、ヨロヨロ歩いている姿を自分なりに想像すると、とてもひさんて“大変だった”と思いました。けど、実際は自分が見ているよりもとてもひどいものなのだろうと想うと、昔筋かこおるような感覚になりました。他にもたくさんの方の話を聞かせてもらって、一番に思うことは、もう二度とくりかえしてはいけないと思ったと感じます。私は小学生の低学年の時の読書感想文で、広島のことが題材の「つるに乗り」“という作品について書きました。小さな頃では分からぬいこの方が多かったけれど、その時思ったこともそれだったと思います。今回の話で、小さな頃では分からなかったことをめいかくに、しっかり胸にきざめたと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

今回の特別授業では、糸田かい核爆弾の名前や威力、投下の候補になつた都市など、様々な知らないことを教えていただいたり、表現が“酷いかもしませんか”、生きしい実体験をもとにしたお話を聞かせていただき、今までの講演よりもずっといいに残りました。

核爆弾について僕は、これまで「ばくせん」としか知らないかったのですか!! 爆発のときに、その表面温度が太陽よりも高く、爆発の衝撃波が音よりも速いことにとても驚きました。体験談のほうでは、まず核爆発のところで、そういう驚きました。でもこれを実際に聞いていた本人たちは、もっと驚いていたと思うと、恐怖も覚えました。次に被爆した町の状況を表現している「灰色」という言葉が、ずっと残っていて、核爆弾の威力がどうれだけすごいものかを改めて認識することができました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/16

僕は原爆の起きた現象にとても驚きました。そして、話はとても生々しく、当時に起きたことを肌に感じることはできました。特に、傷口にうじ虫がいるのは、いつもした生きている人にもうじ虫がいることにとても驚きました。生きているのに痛み、苦しみを味わうのは死ぬことよりも思いました。死ぬのは、一瞬なのに、こうやって苦しみながら死んで…、この話は聞いたこともわかるつまむを感じることが出来ました。S=37. 僕がひとつ思ったのが、京都から広島に変えた理由。中で、「京都には寺や文化財がたくさんあるので人の気持ちを考え、広島に変えた」とあります。そんな人情がある人たちが原爆することや、他の国を巻き込むのは本当にやめてほしいと思いました。実馬鹿に他の国を使い、人を殺すんだから自分の国でやつて欲しいです。そして、原爆のつらさ、苦しさを知っています。

この講演会を聞いて、自分が思う原爆の力を改めて知ると同時に恐いことや苦いこと、不公平を感じることが出来ました。そこで、世界平和はとても重要なことだというのがわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

僕は、今まで広島と長崎に原爆が落とされて、大変な被害を受けた。ということだけしか知らなかつたけど、今日の特別授業で、くわしい事をたくさん聞けたので、よかったです。

原爆を落とす都市の候補で、今自分が住んでいい子横浜があったので、高熱で人間が丸コケになり、建物も焼きはされて、町が破壊されるような事が自分達の町で起こってしまったかもしれないと思うと、怖いと思いました。

広島に落とされた原爆(リトルボーイ)は、ウランを燃料とする原爆で、60kgのウランを乗せ、その内の1kg(ピュウ程度の量)燃焼させ、広島を破壊した。けれど、今は60kgすべてで爆発せられるので、当時の1000倍以上の破壊力があり、それを色々な国が持っている。これを全部使ったら、世界がほろんてしまうと思った。統対に原爆を使へはいけないと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

この話を聞いて、私は、原爆の被害をうけた人々の生き方に印象に残った。特に、「皮膚が焼けただれて、だらりと下がっていた」「不気味なような、ゾーンとするような感触が手に残った」などのような言葉には、少し気分が悪くなるような生き方を感じた。

この話を聞いた後に、日本は武力を持つかぎりなのか、まだ知識の浅い自分なりに考えた。今回の話を、原爆の「さやいど」から、二度とこのような悲しいことの起こらないように、持つべきではないという鬼のものある。しかし、それで自国を守りきれるかといったら、守りきれるとは言えないと思う。世界中が兵器を持たないのが一番良いのかもしれないが、現実はそうもいかない。私ではこの話についての結論は出せなかったけど、このようなことを二度と起してはいけないと強く思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

僕は原爆先生の特別授業を受けるまで広島と長崎に原子爆弾が投下されてたくさんの被爆者や死者がいたことくらいしか知りませんでした。池田徳さんのお話の中で一番印象に残ったことは今僕たちが住んでいるこの横浜が原子爆弾投下の候補になった都市が6つあり、その中の1つが横浜だったことです。もし原子爆弾投下が広島や長崎ではなく、僕たちの住んでいる横浜だったら今とは景色が見えていたかもしれませんと鬼いました。そして一番驚いたことは原子爆弾の平面温度が7000度で上空600メートルにあったことです。太陽の平面温度で600度でそれよりも1000度も温度が高い原子爆弾が東京スカイツリーくらいのところにあったことがすごく驚きました。こんなにも残酷なことがあったことを自分よりも年下の人たちに伝えたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

気分が悪くなる程リアルな内容で原爆が
いかに恐い兵器なのかがよく分かった。
また、「人間の慣んは恐い」という表現が
あたが自分達もあの地獄のような場所で過
したら慣れてはまつのかなを考えたりしていくこ
とと思った。そして、そんな経験をせずにここまで
育ってきた自分達は、いかに運が良く、いかに平和
というものがありがたいものなのか少し分かった氣
がある。正直、自分がここまで原爆の恐さを
理解しているのかどうか分からぬいか、教科書
の中のページという形態でも、それで代の
どこかに原爆と被爆者の方々の出来事を
とどけておきたいと思った。また、自分達の世代
で同じ過ちを繰り返さないためにも、もっと
詳しく広島や長崎について調べ学んで
きたいと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

たった1kgのウランだけで、太陽よりも高い表面温度になり、衝撃波は音速よりもはるかに速いスピードになる。というのを聞き、正直あまり、「これくらいなんだ」というのがわからなかった。でも、わからぬくらいすいんだと思った。

僕は一度、広島へ行き、原爆資料館に行きたことがあるが、その時は、本当にショックを受け、実際に被爆した人の話を聞いた時は、「こんなことがあつたんだ」「おそろしいな」と思った。

そして、今日の話を聞いて、池田さんが被爆した人の人形を見たときに、「きれいすぎる」と言った、と聞いたとき、自分がそれを見たときは、あれだけショックを受けたのにそれでも「きれいすぎる」というのは、実際ではどれほどのものだったのかと思い、改めて、本当に「きれいなものだったんだ」とわかった。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

昔の軍の人は、軍の命令をしっかりとこなすことを当たり前として、今回の授業に出てきていたので、どんなことでも、言われたことをいやがってもそれに疑問をもたらすにやっていたことに驚いた。自分は、死体を片付けるならまだしも、生きている人にいやな顔一つせずに関わるのは無理だと思った。核爆弾による具体的な被害を聞いて、熱風が一番怖いと思った。太陽が自分達のすぐ真上に来ているのを考えると恐いなと思った。原爆を知っている人からその内容を教えてもらえるのはとても貴重なことだし、そのことを聞いて絶対に忘れてはいけないことを思うので、しっかりと心にきざんでおきたいと思った。今の時代、今回聞いた時の一千万倍の威力がでるものを見た国を保有していて、それが一万五千個以上あるということを聞いて、次に大きな先進国同士による戦争が起きた時には、人間にも自然にも大変な被害がでるのではないかと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

原爆はものすごい力をもつて爆弾。

人間が人ではない姿、黒コケになってしまった姿を想像してただけで気持ち悪くなってしまった。

たったゴルフボールくらいの重さのウランが爆発しただけで7000°Cのも高熱をだす。

熱だけで人間の中にある水分を蒸発させてしまい、さらに衝撃波で人間をなごなにして死んでしまう。

原爆を投下した人は多分、おぞろい事をしたとは思ってないだろう。原爆先生の話を聞いて、原爆は一瞬にして地獄にてしまうおそろしい兵器、原爆もしくは、原水爆は地球をかばなくすできたと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

名前は裏面に記入してください

卷之三

3/16

原爆を受けて地域の救助した人の話を聞いて本当に良かった。太陽の温度でほとんど変わらないくらいの熱線という話ですが、僕は前ある本で「太陽の近くに行かれて体はすぐ溶けてしまう」というのを読みました。なので今日その話を聞いて爆心地の近くにいた人たちは本当に一瞬で溶けてしまうのかと思たらとても胸が痛くなります。

また、ウランが1Kgだけで広島市を吹き飛ばしてしまったのでの威力があるのを見てビックリといふよりさわへてきました。もし、60kgたらどうかで広島だけではなく他の地域にも被害がまさんでいると思いまして。最後に、それ以前だと思ってはもうされませんが今日は本当にありがとうございました。先生の話を聞いて、僕は改めて新潟さんしていけないと思つたし、来年の修学旅行でこの話を活かせると思いました。だから被爆者のためにといのではあります。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

今回、久也田さんの当時の生きい話を聞いて、学校の授業やテレビだけでは分からなくて知ることができた、とても大きになりました。特に原爆の温度が太陽よりさらに1000度も熱いという事は初めて知りました。地球から太陽まで何光年もはなれていても暑いのに、600mまで近づいたら、と震え上がります。そんな事がたった70年(かた)でいいふういうのは改めてありました。豊かなお話をしてくれたり本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

まさか、そんなにも広島がそこまでやにとなつてゐるのは最初は信
じられなかつたけれども、話を聞いていくうちに、戦争の本質
もはや、人々の姿、行動などはきりと分かり、たくショックであ
りました。自分や他の人たちのためにも、戦争はもうおきこな
けないと気が、声にもすぐ迫力があり、すぐひっくりてしま
た。必ず後世に戦争のつらさ、大変さなどを伝えていかな
ければいけないと思つた。今回学んだことを忘れないで、来年度、
広島に往たいと思ふ。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私が今回の特別授業を受講して感じたことは、「恐怖」です。

映像や、画像を見て、原爆の爆心地には、なにもない、

ということが強く衝撃でした。

先生の話は強く心に沁みました。聞いているとだんだんぞろしく、

画像はぞろしく、見て、聞いて、恐怖でした。

被爆者の話はぞくにぞろしく「不気味」だと思いました。

被爆者の皮膚は焼け、はがれかけていて、服と皮膚が

ごどごどになり、全身が大やけどをしていました。川には、

あつさびたえられたくねた者がごどごどやがてたる状態

になっていた、死体の山になっていました。」 そういうのを私は、

特別授業が終わるまで、強く心にのこしています！



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

僕は、昔から原爆や、被災地について知りたいと思っていて、今日の特別授業でたくさんのこと知れました。池田先生の父義三さんの日記に書かれていて、トラックに手をこして、自分を求めていた、という所が一晩心に残りました。手をつかんでも皮膚がはがれてしまい、その感じがヤバすぎるといつて、僕は自分でたら、怖くてつかめないと思いました。人間なのに、人間として生きねばいい事が被災者の苦しみで、被災地の犠牲の想い所だと改めて感じ、世界で核兵器を持つこと、使うことが統計に乗る世の中に自分がしていいのかどうかしました。また、自分の子供や孫などに広島と長崎で起きた世界的大事変を永遠に忘れないように伝えています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私は演劇部に入っていた、その部活で戦争の悲惨さなどを朗読劇で伝えたりしていました。そのため、(1)こう戦争の事も知つていろうもりでした。また、たくさんの戦争被害にあった方が私たちに教えてくれました。

その話を聞くとみんな涙を流しながら話してくれました。
(か)

私は今日の話を聞いて、1発の原爆だけでこんなにも多くの命が奪われることを初めて知りました。あと、原爆の温度は太陽の表面温度よりも高いと聞いて驚きました。

私は自分では(1)こう知つていろうもりだと思っていました。またまだ知らないことをたくさんあるんだなと実感しました。

今日の話を聞いたことで、涙を流れながら話してくれた人たちの思いがさらによく分かりました。

私は二人目に悲惨な光景を二度と作りあげてほがらかに人の命を殺す簡単な奪いではいけないという事を改めて思いました。

私はまた戦争の事について知らなかったたくさんの事が分かったため、これからは戦争の事にも、と興味を持ち、戦争の事をたくさん調べたいと思います。そして、戦争が起きたときの事実を決して忘れてはならないと覚いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

今日の原爆についての話を聞いて、改めて原爆の悲しさや悲惨さを強く感じました。色々なお話の中で特に印象に残っているのは、原子爆弾の威力のことです。落とされた爆弾の熱量は7000°Cで太陽の熱よりあつものが600mくらいまで近づいてくることや、爆弾が落ちたときの音よりも衝撃波がきて建物を粉々にしてしまうことなどを知って、自分の想像していたものほんかに超える悲しさでした。

他にも、エリザベスから落とされたリトルボーイの重さ、約4tのうちの1kgはウランの重さで、たった2ヘルツ(ヘルツ)くらいのウランを燃焼しただけで広島の町を破壊してしまうのは本当に驚いたし、原子爆弾はほんとうに恐しいものなんだなと感じました。

また、もし、当時候補にあがついた横浜に原子爆弾が落とされていれば、横浜も灰色になってしまったのかなと、想像してしまふところもあったしとにかくとても恐ろしかったが伝わりました。今日聞いた話は絶対に忘れてはいけないことですと思うし、この悲しさや悲惨さを、後世の人たちに伝えていくなって」と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私は、今日原爆の話を聞いて、太陽の表面温度より1000℃くらい熱い球が広島に落ちてきて、人の皮膚にされれば“皮膚が取れ、赤い肉と油のような汁が出てきた”と聞いて、広島と長崎の原爆ではたた“爆弾が落下さい、大人数の人々が七くなったた”けかとずと思っていたけど、助けようと思う人が思ひた“したた”けで、涙が“出るくらい”最悪な事だったと知り、この前まで大人数の人々が七くなったた”けとは思えない、一生忘山ろいとの出来ない特別授業でした。この貴重な特別授業を受けて、原爆がどういうものなのかという答えが“この前思っていた以上にひどく残りくね話であることを知り、このことを一生忘山れず、両親や兄、友達などに教え、また今から色々な人に伝え、みんなで広島と長崎の原爆と原爆ドームを一生忘山れないようにしたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

僕が今回の特別授業を受講してみておいたり

アロイかななどと思つたことが3つあります。

1つ目は原爆の假想には、諸節で新かつたがあけ
られていて、プラス最終的に京都をしきりにした所で
いがいせ理由にあてられました。新かつてはおばあちゃんの家が
あつてそこがとされたら自死はうまれてこなかつたと思うと
まじかだと思つてしまひました。もう1つが京都をしきりにした
理由が世界の文化財という理由はどうしてもかうして
アメリカが戦争中でそこまでかくがえるのはとんでもない
やうがみでかがわかれました。2つ目が"ウラン1kg"ゴ
ルフボール1つの大さしがないように広島をレベル化して
やけのほらにいたと隕原子力のおろしやウチのひ
そろことを知りました。3つ目はトラックに負はうして人を
乗せようとしてしまったかんてひろいかやうけスリルと
おへりトス、ワからこつけめうたと聞、トラックからこつけ
ること147つこうアロイことめにひめにおわれてないこと
ひろいかやうけスリルとおへりと1つを想像するだけ
で"うりはだかうつもしこなみことがあつたらと考ふる
た"だけで"気分がわくくな3のア・ク"だと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

僕は、今日のお話を聞いて、自分が思っていたものよりもひどいことがありました。特に、キズ口にウジムシがわいていたことが、全身黒焦げの人などの話は聞いたことが無かったので、びっくりしました。他にも、ヤケドについても、けががけいやでいる人がたくさんいたのは知っていましたが、トラムに乗せようと手を握られたときに「皮ふが」はがれましたことを聞いた時、「や」としました。ですが、正直、まだ実際の人々がどんな風だったのか、皮ふがすりむける感触、死体のにおいなどの感覚的な部分は、なかなか上手く分からぬのも事実です。なので、せめてもうこのよなことが起こらぬよう、来年度の修学旅行では、今自分たちが分かることを、しっかり学んで、今後に生かせたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

池田先生のお話を聞いて、戦争時の広島の事が生きしく語られていて、心の中でゾクとする事が何度もあった。今、自分には、曾祖母がいて何度か話を聞いたことがあり、祖父をベビーカーに乗せて全力で走ったということを聞いた。その時はまだ子供としか思っていなかたが今日聞いて、当時の事が想像出来た事によって戦争についてよく分かった。

このきっかけで戦争に対する意識が変わり、もう少し曾祖母に色々聞いて考え方ようと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

受講する前と後での原爆への見方が変わった。受講する前は、8/6に広島、8/9に長崎に落とした、という事しか知らなかつたが、今回の受講を受けて、原爆を落とした理由や原爆のしくみ、原爆の恐ろしさを深く学び、戦争の恐しさや、被災した人々の苦いところを知つた。原爆投下都市では一番有名な広島だが、まだまた知らない事が多く、3年の修学旅行でも、この深く学び、今回の受講の知識を蓄えて、原爆ドームや平和資料館を見学したい。又、長崎が第3目標だった事も初の(矢張り)、小倉という都市に落ちて、たがちいれない事、横浜、新潟、京都も原爆投下都市の候補になっていた事も初めて知つた。特に、原爆投下都市候補の中で京都が1番すゝ選ばれていた事におどろいた。今回の受講は人生の中でもとてもきょうな事なので、この話を忘れずに、戦争をもうけない世の中にしたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

僕は今日、行った原爆先生の話を聞いて
約72年前に起きた原子弹爆弾で広島や
長崎の人類が皆、一瞬で消えてほうという
たくさんの尊い命が無くなってしまった。
たくさんの苦しみや悲しみを味わいました。
三田先生の曾祖父が実際に体験したと
いうことで「行からなかたことなど」も知りました
になりました。資料にもあったように1kg、たった
のゴルフボール1つで広島を全て破壊するような
強さが60kgものがあると広島はどうなっていくか
もし60kgよりはるか多くあたら広島だけではなく他の
場所も破壊されてしまうという予想などもできました。
一番おどろいたのは原爆の原料が火薬ではなく
ウラン原素が原料ののが一番までしまって。
5月、学年ごとを元にして今年の修学旅行にて
生きていたいと思ってます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私は原爆先生の特別授業を受講して、今が平和な世でよかったなと思いました。話の中に皮膚がはがれ落ち、赤い肉や骨が“見え、手を斜め前にして助けを求めて歩いている人”という内容があり、そのことについて私は恐怖を覚えました。たた1秒たらずの出来事なのに對し、被害はとても大きいものだった。この事実は核兵器が恐ろしく残酷な兵器であると、後世に語りつがなければならぬ“そのため”と改めて思いました。また、私たちの世代が生き残り戦争の話を聞くことで“最も最後”とされています。そのことも含めて、今日の話は心に深くさせされました。日本に投下された原爆はこの世を破壊してしまう恐ろしいものだというのが説明を聞いて少しあかりました。この地獄犬を生む核兵器は、世界から全て消えてほしい。そう改めて思わせてくれるいい機械となりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私は、原爆先生の特別授業～7000℃の少年～を受講して、原爆が落とされた当日、もし何かが少しども変わっていたらどうなっていたのだろう、と想いました。アメリカの人達は、その日天候不良だったから、別の場所、もしくは延期にしていた、とか話の中でありました。そして、少しの計算ミスで、投下目標地からずれていたから、長崎の原爆は多少、弱かれた、というようなお話をありました。もし、天候が悪くなれば、投下目標地とのずれがもっと少なかつたりしていたらどうなっていたのでしょうか。考えてみたくなります。義三さんの手記で、星を引かしたお姉さんをおひって行くところの、義三さんの思いがすこし16に書きました。それに、最後の映像で、義三さんが泣かれています。原爆が投下されたその時を見た、県の人だけが、本当に理解できる思いを少しこけ感じることができて、良かったね、と思いました。どうしても語り部さんの人数は少なくなってしまったので、今日、教えてもらったことを忘れまいようにしています。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

はじめはタイトルの「 7000°C の少年」の意味が分からなかっただけれど、説明（授業）を受けてみて、「少年」は広島に投下された原子爆弾のおよそ47モの「リトルボーイ」（訳すと小さい子=少年）のことだ、「 7000°C 」は熱線のあつさ、温度で、太陽の表面より 1000°C も高くなっていると聞き、ようやく理解しました。そのことより、「 7000°C の少年」の意味が分かりました。

さらに衝撃波は毎秒 440mで音速の毎秒 340mより速く、地表で 3000°C もの熱風がどんどん伝わるとなると、それは被爆者が広島市の人口の 70%以上をしめるなど納得しました。しかしなぜこのような恐いものを人間が作れたのか、戦争に用いたのか、そのすべてにかかわった人に怒りを覚えました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

話を聞いて最初に思った事は「生きていれば、
死んでいた。実際に二人の車が起きた事が無かった
ので、ドラマや、映画の世界のように考えて
しまった時もありました。

また初めて知った事がたくさんありました。原爆は
4km 千前から落としていた車や、長崎や広島も
その中に落としていた車などを
ありました。その中でも一番驚いたのは
広島、長崎の他に候補があった車です。
小倉は運よく落とされなかったのです。
最終的には候補には入っていないらしいしかし天候が
悪化した3、3つの地域に落とされていました
を感じます。他の他の3つは横浜を
入っておりもし落ちていたら、自分の曾祖父
なども亡くなっていたらでは、なればと思います。
考えただけて怖いです。

この「生きたい」という生きる欲求は語りつか
ないくらい強いし、自分で自分を決めて志すて
は、A×Tほど強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3 / 16

正直、私は今も今までも、米軍による原爆投下は、他人事でした。聞いたり見たりすることができません。17の出来事として見ておられます。実際、私の曾祖父は、軍の指揮官ばかりで、戦場に立ったことは無いと聞きました。曾祖母は、地方に住んでいた飼い犬、被害を受けた経験はありませんと言っています。だから私は、実際に戦場に立った人はまだ話を聞いたことがない。それの中には自分にとっては良くないところはありますけれども、それでも思ひもつかないくらいです。正直、今回の特別授業もドラマや映画を見ているかのような授業と感じてはいけないものだ。時代に生き、まだ大切な人を失った事がほんとうに何と圓満であるか。二、第二次世界大戦や原爆投下、被害者やその家族の気持ちの有り理解可不可以難解いけれど、もう戦争を一度もくり返さないために今、何ができるのか考えていました。先生の言葉と印象的だったのは、「自分が死んでも、自分が亡くなっているのではなく、生き残った。私は前に道徳の授業で自衛隊の物語をよく聞きました。その人も助けてくれました。それで死んだら死んでいいよ」と言っていた。原爆先生のお父さんは、その歳で遺骨が引き取られ、骨は死んでしまったけれど、印象的でした。戦争を経験して生き残った、和田さんとおなじで、義務が許す限りの死を和田・原爆先生が行なうことを伝え、(和田さん)「死んでいたと思つてもう死んでしまった人」。【アリたいと思つました】



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先生のお話や多くの資料、映像を通して、原子爆弾とはこれほどに恐い物なのが、と改めて驚きました。

社会科の授業などでは戦争、原爆について学ぶ機会があり

多くの人が亡くなったり、複雑な政治の問題があることは知っていました。しかし、実際の被爆地ではどのようなことが起り、どれだけの苦痛が人々に与えられたのか想像することはできなかったし、また深く知ろうと思ふこともありませんでした。

今回のお話しは、そんな私でさえも非常に生き方に感じ

当時の惨状を思い浮かべることができました。スカルズル、皮膚のたるれ落ちる被爆者の姿や、大傷の痛みに耐えながら叫ばれる「痛い！」という声は、お話を聞いていて恐いものでした。

戦争を体験してない私たちには、この痛みを知りません。

しかし、これらの問題は戦後70年経つ今現在にも通じる非常に大事なことだと言われます。ですから私たちはもって戦争について学び(知り)、理解する努力をしたいと思います。世界からNBC兵器や戦争といった恐いものがなくなり。

多くの人々が平和を享受できるようになることを祈ります。

お話をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は、今回の特別授業を受講して、原子爆弾のおそろしさをより深く知りました。僕は前に「はなしのゲン」という広島に原子爆弾がおとされた時のことを書いた本を読んだことがあります。その本では火が、ピカのえいきょうで皮がはがれ落ち、全身にやけどをおぼしているようすをかいています。でも池田先生の話では、本では感じることができない人々の感情やじょうたいもくわしく知ることができます。そして、池田先生が父さんが体験したことまるでその人であるかのようにかたってくれたことが、一番印象に残りました。例えば、毎日が地獄のおなつたとか、まわりの人人が人間でない人ではなく、ちゃんとした人間だということがうれしかった、などです。今まで自分が思っていたことと、池田先生が教えてくれることは全然ちがいました。例えば原子爆弾には、パラシュートがついていたかなくてや、目的地に原子爆弾を運ぶことができなかることなどがありました。

僕は、今回の授業を受けて、このようになったことが、二度とばこてはいけないと思いました。そして、このようなことが、もう起こらないようにするために、核所有国にある核兵器をすべて廃棄する必要があると思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、池田先生の貴重な話を聞いて印象に残ったものは、最後のビデオ会議で池田先生の父、義三さんから泣いていたところです。なぜかというと、その原爆の事件を思い出しちゃったら泣いてしまうほど苦い想いなんだなと感じましたからです。また、原爆を落とす一つの候補地。うち横浜と京都に入っちゃうここにとても驚きました。特に京都は、山地と山地に狭まれている原爆を落とすには最適な場所だたそうです。でも、歴史的な建造物や古くから伝わってきた伝統文化が京都にはあったため原爆を落とさなかったというアメリカの方もいた優しさ印象に残りました。この特別授業はとても貴重で原爆を体験した人の話を聞くのは、僕たちが最後の世代だと思うのでこの経験をもつて後世に伝えていかないといけないと感じました。そして日本が将来一生戦争をせずに平和な国になれるといふことはいいと願っています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今まで小学校の時などに戦争の話を聞いたことがない。少し原爆のことも知った気には、ついでに、今日の話を聞いて、自分は何も知らないか、たのだ」と身付かされました。

先生の話で「全身やけどや傷口に虫がわざく」という話を聞くとき、私はそれを想像していました。実際に見たわけでもないのにたんだん怖かったです。本当にそれを見た人たちほど「なあ持つた」のだ「うう」と思いました。

また、私が驚いたのは横浜が原爆投下の候補にたどりいたということです。広島や長崎で起きたようなことがここでも起きたら私達の生活が今と変わってしまうのかなと考えていました。

今日は先生のおかげで、人に残る貴重な話を聞くことができました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

とてもためになれるお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

今まで思っていなかったもの以上に原爆は恐ろしかったことに気がつくことが
できました。

私は今まで
も、たくさんの人を救えたのではないかのか、と思っていたけれど
と救いたくて手を差し伸べても救うことのできない状態だった
ことに驚きました。全身を火傷するということは大変なことだし、
普通には体験できないような痛みだと思します。そんな中、
生きのびようと必死で頑張り被爆した方々は強いなと思
ました。

原爆に使われたものの写真や被爆者数や原爆雲のしくみなど
知ろうとしてければわかることが多いことも、今の私たちが学び継けていか
なければならぬことがあります。

私は“どうしてこの忘れられてしまうんだろう”と思っていましたけれど、忘れてしま
けないし、後世に伝えて忘れないようにしなければいけ
ません。とあらためて思いました。

池田先生のお話を聞き、当時の広島がどのようは状況だったのかわ
からなければ、他の場所はどうだったのかわからなければ、周りの戦争を
経験した方に聞いてほしいなと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

今日は想像以上の大切で大変な事を学びました。原爆は前からずっと危ない「あれはいけない」という認識でした。しかし、今日話を聞いて軽く思われていたのがもしかれないと、思うようになりました。真っ黒木やけニケ"た人々。ひるをなさしながら歩く人。言葉た"けでも、当時の地獄のような風景が思ひ浮かびます。音、熱、触、心、全てが絶望の中に、いたた"て感じました。

今までの意識を大きく変えた。今日の話は、忘れない次の世代へ受け継ぐことが大切だ"と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

僕は今回の話を聞き原子爆弾を投下する
都市の候補の中に京都が入っていた
ことに驚きました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日の講義をきて、原爆弾について詳しいことや事情、裏の話など、新しく知ることがたくさんありました。今まで多く、被害が出たなと大それなことしか知らなかつたので、

今日学んだことはとても衝撃的で、忘れられないことをと
思いました。原爆弾は当時人口の多い、大都市に落と
していくだけだと思っていました。条件があり、その条件を
満たす大都市に落としていたのです。本当は小倉が失敗してたら
長崎に落ちていたこと、天候も関係していたなど、思ひもよらない
事実を知りました。いかに自分が原爆弾の近くに立つて
無知か、何が分かりました。アソリカは重要文化財が多いから
その理由で京都を免除了ところが妙に復して、戦争中だとさうるために
その部分は気を遣うのは少しおかしく、どうすることを思
やねえから、最初から戦争を起しまくったのではと思ひます
そこではない。もう少し違う場所に目を向けて気遣いかでない
から、戦車は背もていておまじ上を飛んでいます。

私は自ら空手でこれを書かれたり、修正液で二度三度書いていた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/15

僕は今回 原爆先生の特別授業を受けて改めて原爆の恐しさと今まで知らなかった色々な事が分りました。

例えげ俊輔になつた都市に横浜や京都があった
事や京都が選ばれなかつた理由が歴史的文化財が
多いう理由で、事に驚きました。戦争なのにから
かう「歴史が…」という感情がないと思ったからです。
され、ウラン 1kg の力でこんなにこんなにたくさうに
なるつします。たのに、60kg 全て反応してしまつたら
広島県全体がひかへ受けきつたのではと思つた。
また、現在の化学会では 1000 倍もの力であります
とおしゃつていて、今話題になつてゐる北朝鮮が
おり、とくとく思ひました。

今回の授業を受構して今までがんこがんこしていた
部分などを正すことをしました。今回の言語を
頭に入れて来年の広島への修学旅行でより
多くのものを学んでいきたいです。



じゅこう 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆が投下された時の音を聞いて、耳が痛くなり、音だけでもとても怖く感じたので、当時の人々はもと怖やつたんだろうと思ひ、胸が痛くなりました。

原爆投下の候補に横浜も有り、それでいて驚きました。また、正直横浜に原爆が投下されなくて良かったと思いました。

この話を聞いて私はこの事を忘れてはいけないと思いました。そして、そのためにには後世に伝えていくことが大事だと思いました。また、2度このような事件起きないでほしいと思いました。

今日は原爆先生の特別授業をして下さりありがとうございました。



じゅこう 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

僕は今日この原爆先生の話を聞いて、昔のアメリカは、とても
駄洒落で、今僕たちが住んでいる横浜や、歴史的建造
物の残る京都まで原爆投下地の候補になりました。
都市壊滅のおそれから逃がれられることになりました。
いはいえ、投下地を考えると、とても怖しいです。
実際、講師の話を聞いていて、投下地はそこ壊滅
的性能と言ふような状態であったとかがあり、とても
悲しく思いました。今やアメリカは同盟国なだけの
ですが、当事のアメリカがどれほど、絶大な力を持ってたこ
とが改めて分かりました。ちなみに、広島に落された
トトロボーグは核分別をしたウランkg、ひあれくらいの被
害をもたらしたのに関わらず、世界には、その1000倍以上
の威力の核爆弾が1万発以上現在あります。
最近では、北朝鮮というワードよく聞ますが、間違つて
広島の時みたいな見守無残で悲惨な光景にならないように
して、僕は心から祈っています。



じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆爆弾の話を三也田先生から聞いた。午後で私は

原爆爆弾投下命令の発令、候補になった都市、特に

広島に投下された原爆爆弾のことなどとても恐ろしいことを

学ぶことができた。その中でも人々の体全体は焼けた

で死んで、兵隊が助けようとし、手を引き上げようとする

ときには“さあ早く死んで落ちた”という話がとても怖

い場面だった。太陽が600mくらい直角に直った

ことを自分の頭で想像するだけで私はハラハラして消

えそうでとても怖くなかった。私は絶命していない地

図先生の話を聞いた上で昔の人がどんなに痛い思い

をし、どうして死んでいたのかがよくわかった。

今日の三也田先生の話を参考にし、来年3年生で

修学旅行で生きなさい。そして、3年生だけではなくこれから

生きる中でこれまで時に得立つと思ふので今日の話を

思い出しながら生きていきたい。



じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の話を聞いて思った事は、原爆も落とす第2候補が長崎だったと思われたが小倉だったのにおかしい。他には長崎の中心のおちないで東から3km離れた所に原爆が落ちたこと知った。いじき思った事は小倉の上空で3回も爆撃にしまづいた爆発物のおかげで日本の被害がかなり少くなつたのがよかつた。でも思った事は原爆の表面は太陽の表面より1000度もあつてそれが600上空にまで現れた。みんな車で火災を見てEELと思ったのと中科院440mの歩行爆弾が立った体がバラバラになつてしまひ警けた。もし爆弾が横浜に落ちたらどうだい。ばかりたのがと思うとまことに思つた。今の原爆は広島に落した原爆の一千倍の威力があるのを知つてもまた戦争があつた世界がすべてなくなつてまるで本当にこの世からこれが戦争はないとおこないではない。さう



じゅこう 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は最初、原爆なん自分には関係ない事だ"と
思いました。

ですが、最初に聞いた義三さんの体験談では被爆者の
行動や言葉にとても胸が(めづけ)る気持ちが(ま
した。

原爆は、ENOLA GAY A51発射された"YUKE"ーの中におられたウラ=1
kgの核分裂を起こして爆発しただけで14万人の方が亡くなりました。A9
の人々を苦しませるなんてすごいと思いました。

義三さんも死者の人たちをもや(た)けて、本当にたいへんだ"だと思ひました。
「助けて...」て(う人たちを助けてあげる)事にくわしく
がただと思います。

原爆の事が展示してある所でも、その時の事をしっかり今生きる人に伝
えるのは難いのかなと思ひました。今でも原爆の事が苦しいで
す人たちがいてその時の体験を伝えていくのは大切だ"と思
うし、自分は関係ないと思わないで、その時に苦しんでる人
たちの事をもう少し知ってほきた"と思ひました。

被爆者、体験者、兵隊の人たちの思いを、私たちより若い人たち
に伝えていきた"いと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/15

私は、演劇部に入つて、戦争についての朗読劇を、様々な場所で発表してお) 詳しいつもりでしたか、また「知らないことかいあると実感しました。特に、原爆を投下する予定だった都市の条件など、原爆についての基礎知識を知らなかつたです。衝撃波の速さが「音速より速い」と聞いて、先に飛ばされて者か鳴って、實際には何が起つたのか分からぬいたうと感じました。また、太陽の表面温度より高い球体が 600m 地底にあるといふのは、本当に信じかたるものでした。本の一節を朗読していた時には、生きしい表現が用ひられていて、怖かったのですが、實際はもっと酷かったのだと思つと「う」としました。また、最後にお聞きした義三さんの言葉や、原爆ドームへ行った時の言動などを聞くと、言葉に形容しかつたものが、義三さんの中にある人に「う」と感じました。義三さんの気持ちには、私たちには分からぬし、時を経て、どこ薄れていくんだ「う」と考えさせられました。だからこそ、語り継ぐことの重要性を改めて感じ、私たち演劇部の活動が、何かになれば、と深く考えさせられました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日、原爆の被害がどれほど人口をくろしました
ものかを、改めて知りました。私はコンガで「ほんのけ」
を読んだことがあります。原爆の被害にあたった人は人間の姿で
はないようなむじい姿になってしまったというのは少し知って
いたのですが、実際に原爆を受けた広島地区付近にいて
実際にその場で見たものなどはほんとうに悲しいものだ
と思いました。池田さんのお話を聞いていて突然大きな音
になったとき（ほんとうにあどろきそしてとても怖くなりました。
話を聞いていた方は、原爆のむごさや悲しさ怖さなどが
とても伝わりました。そのときに私は、実際に原爆を受け
助かった人も亡くなったりも、どれほどのつらさや怖さを味わ
たかと思うと、とても胸がくろくなりました。また、原爆ドームを
なくすか、のこすかという話も行われたそうですが、私はこんば
にも悲しくつらいできことは人々が戦争のない世界をくろのに
大切だから絶対に忘れてはいけないことを思いました。
今日は、お話を聞かせていただき、原爆の怖さをとてもよく知るこ
とができました。ほんとうにありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私は3年後には17歳になり、私の姉は、あと1年で17歳になります。

そう考えると、17歳で軍隊に入るというのはとても若すぎるよう感じましたし、危険なことだと思うのでとても驚きました。早くから軍に入り、原子爆弾の出来事を経験するのは、今の私達にはないことで、お話をうかがえて、改めて世界に1万5000発もある原子爆弾がとてもこれく感じました。今まで、学校でビデオを見たり、本や教科書についている読み物を読んだりしたことはあったのですが、ここまで衝撃的だったのは初めてで、兵隊の池田義三さんにいか分からぬ表現できな「原爆弾のヒヤ被爆した人のことが」、しばらく頭から離せませんでした。広島の人々の、焼けただれた皮膚だったり、線光・熱線、衝撃波などを音や写真や説明で聞いたり見たりしたこと、目撃者の実話が、深く印象に残りました。多くの生き残りを生んだ「原爆弾投下地候補」に横浜もなっていた事を聞いた時は、驚かれて鳥肌が立ちました。池田さんの記憶よりは感じた事はほんの一薄い記憶しかないけれど、確かに恐怖を何度も感じたので、原爆弾がなくなつぽいと思いました。とてもきちょうなお話をたくさんうかがえて、忘れないでいようと思ひます。また、広島に行きたときは思ひ出しながら見学しようと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回実際に原爆の恐しさや危険性を感じたことのある人の話を聞くことができてよかったです。原爆がどれほど危険でこの世界に必要な人が「かがり」だけ。うんざりする広島があればどこかぼくになってしまったら60kgも使えば日本はちゃんとアーヴィングの手の国が広島のようにおかしくなってしまうと思う。それなのに「リトルボーイ」の100倍の威力のミサイルをたくさん持つ国が保有しているなんてすごいのです。また、特に原爆資料館の中にいる人形を見て先生のお父さんが「違う」と言ったところが記載にありました。あの言葉は実際に見たんだからいれたものであってとても大変だったのだとさしてんだと思われる。人に生き残らなければ生きることができることでもあります。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆が落とされる候補には、た都市に横浜も入っていたとして怖いなと思った。長崎に原爆が落ちる前に、天候が悪くなつたのに、断念する直前になって、雲がなくなつてしまつて、もし、そのまま天候が悪かしたら、落とされずにすんだのになつた。

ウランの1kgが核分裂をおこして、あのくらいの被害であるのに、60gの全てが核分裂をおこしていたら、どうなつていたのだろかと思つた。17才で医隊になつて色々な人の遺体を運ばなくてはいけなかつたと知って、私と3オレしか変わらないのに、ひどい光景を見なくてはいけなかつたのはすごい怖がつただろかと思つた。被爆した所のすぐ近くにいた被害者たちの全身に大やけどを負つたことや皮膚がはがれてしまったという様子をみて、改めて、原子爆弾は恐いものなんだなと思つた。

また、今では広島に落とされたリトルボーイの威力の1千倍もの威力をもつた爆弾が作られてると知って、まちがつても落としてはいけないと感じた。



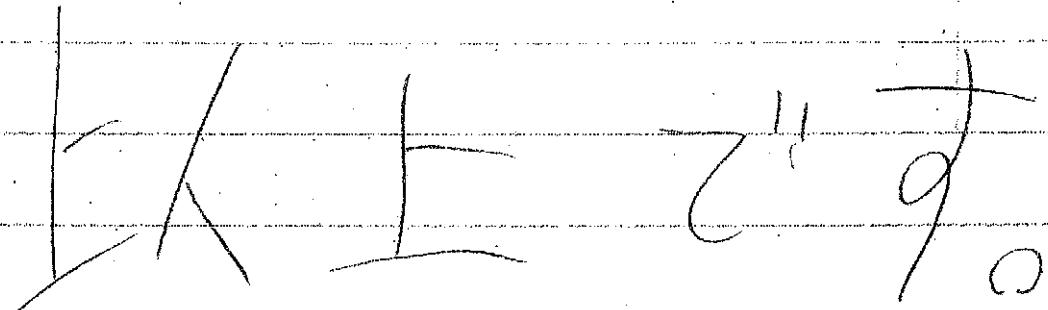
じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を受け終った後、正直な所、
すいに何とも言ひ難い感情に襲われました。
池田先生の父が体験したこと、僕が胸裏で
想像した悲惨さを比べれば、それは天と地
ほどの差なのでしょうが、そういうことも考えれば“やはり
総じて戦争は絶対にやるべきないことなんだと”
と痛感しました。





じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田先生の表現のしかたがすごい生きしゃくと思わす
隠をゆがめてしまひました。しかし、實際は言葉で表せない
ほど非惨ごうらしいものだったんだなと思いました。原爆について初めて知ることが多かったのでとても勉強になったし
おどろきをかくせないところも多々ありました。その中でも私が
一番印象に残ったのは、人がい、いりて消えてしまうという
ところで、人体が蒸発するなんて聞いたことがなかったので
信じられないと思いました。消えてしまう人は痛みもない
感じずに、消えてしまふのかなと思うと、普通で平和な生活
から一気に革せが消えてしまったようにも感じてなんとも思えず
感情に打たれ、そんなことを想起した原爆は本当にやるせない
なと思いました。現在、原爆当時から生きている人はとても少ないし、
今日のすばやく貴重な話を聞ける機会もそう多くはないので、
修学旅行でもっと学習を深め自分達が下の世代に教え
てあげられるようにしたいです。今日の話は忘れてはいけない
と思うし、忘れられまいと思います。そのような話を
聞かせてくれて本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は貴重なお話を聞いていたときありがとうございました。池田先生の特別授業を通して、僕が印象に残っているところは、原爆の威力について説明していくところです。この説明を聞いて、第二次世界大戦の23の犠牲者で広島市街の人口の40%の人気がなくなっているのに、現在の犠牲者で作られる原爆は第二次世界大戦の23の1000倍もの威力が出ると聞いっても驚きました。体と同時に改めて原爆の恐さを感じました。また現在は世界に約1万5千個の原爆があると聞いて、今世界で第二次世界大戦のようなものが起る、たゞ世界中が下駄を24時間履くと思いました。僕が印象に残っているものはもう一つあります。それは、原爆の温度です。太陽と同じような熱をもつものが地上600mにあることを想像すると、鉢もとい人間の体温がそのまま落ちていったかのように思えてきました。この景色を現実で見ていた当事の広島市や長崎市にいた人々はとても苦しい思いをしながら、必死に生きていったと思います。このせいで争いを失くすとモロニ、原爆の恐さをこれからも後世に伝えていかなくてはならないと思いました。まずは自分たちの行動ができるようにしたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は今回の原爆先生の話を聞いて改めて
戦争は恐しいと思ったし、一生起こってほしく
ないことを思った。

被爆者の方は、体と心に一生傷がついてし
まうと思うし、最後の池田義三さんのビデオ
が戦争の恐しさや被爆者の心の傷が分か
てとても感動した。

今回の話を聞いて驚いたことが2つある。

1つ目は、地上600mの高さに7000°Cの爆弾
があつことだった。太陽の表面の温度が6000°C
なのにさらに1000°C熱い物がたった600mの
高さにあつたと考えると、とても恐ろしく絶対に
起こしてはならない事だと思った。

2つ目は、広島に落ちた爆弾の1000倍の威力の
爆弾を今の国は普通に所持しているということ
だ。これを知って、今の北朝鮮がどれだけ恐い事
をしているのかと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は戦争の恐しさ、怖さを改めて知ることが
できました。先生の授業で原爆の話を聞いて、
沢山のことを学びました。

例えば、被害によつて、人の姿が溶けてしま
助けてなくても、手、かはかれ立ち、やつて助けることが
できず助けを求めた人はヤけどが熊だから
すごく痛がると思ひます。考えただけでも、痛口しく
とても残念だと思ひました。

他に熱線と衝撃波があり、この間に
周りにいる人達が消えてしまったと聞いて
肌がたちました。

原爆が爆発することによって、
強い衝撃波と熱線、放射線によつて
多くの被害をもたらし、鉄骨、骨組みだけが
残つてしまつた。沢山の死者、被害者を
もたらしてしまつた。原爆は、周囲にて、
現場の状況を思い浮かべただけでも、

心が痛め、とても悲しい気持ちになりました。

今日は先生のおかげで原爆の恐さを知ることができました。ありがとうございました。



じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の恐ろしさを身で体験したかのような話だった。原爆を落とされる候補になつた都市に横浜や新潟があつたなんて知らなかたし、投下都市に条件があつたなんて、知らなかた。という自分の知らないなかた話を知れたらし、核兵器というものをこの世に残してはいけないと、強く思いました。実際に体験した人の話をもしていく、リアリティがあつて、想像だけでは恐ろしく、そして悲しく思いました。こんな悲しみを繰り返すようなことは二度と起こってはいけないと思う話をでした。今日は、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

卷之三

名前は裏面に記入してください

今日はありがとうございました
11313月は、体験談を聞かせてもら
い、本当にこの場所にいます
を感じながらました。とくに、
僕が驚いたのは、ウラシ1kgで広島
がほとんどうぶつされたことです。でも、
60kg入り313と言っていたので、
えんなのが全部爆発したと聞いても、
幸い被災を免れると思うのですが、まだ
1kgでよかったです。長崎では、
位置が違えたことで、人害が少な
くて、よかったです。

この話を聞いて原爆は、やはりと飛
き出たものだ」とおひためて、教え
られました。



じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は良くないことだ"ということは今日の授業を受講する前から分かっていましたが、特別授業を受けてさらに原爆のこととを知ることができました。また、原子爆弾投下都市の条件というものが"あるのだ"ということをはじめて知り、日本が"その条件にあつて"いるということが分かり、たので"原爆の恐しさを知るこつが"できました。そして候補になつた都市の中で、京都が"良いんじゃないかな"いうこともあり、一番強くうつたが"除外され、広島に決定した"ことが分かりました。アットマンの投下目標都市は1.小倉 2.長崎で、あたが"長崎になり、多くの被害者をだしてその被害者をできるだけ兵隊が"助けあげているところを知り、感動しました。兵隊も自分も自分でつくつて、大変なのに被害者を第一に考えていいさすがだ"なと思いました。今日の特別授業で一番驚いたのが、ウランの普段の重さの1kgが 60kgに増加するということで、ゴルフボールの1/10の大きさの物質によって原爆になつてしまうので、もう原爆は"はいけないことだ"と覺りました。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com
今日は私たちのために特別授業を行つた"本ありが"とうござ



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、1月に三連休へ旅行に行き、原爆の場所へ行きました。実際に原爆ゴムを見て、とても深く、暗やみで、11時に多くの声が聞こえていました。感じでした。展示館では、人の名前やさり書かれて、焼けはれた胸や现场の映像をゆっくりと見ながら、当時の事を思い浮かべながら悲しい気持ちになりました。苏生に実験でうつて行った人たちが、何の罪もなく、殺された。という、あてはまりぬ事が肝ての事を。

今回の話を聞いて、火傷で墨汁に付いた人やヒトがそのまま口で黙くなってしまった人、家族を黙って居場所を失った人。色々人せり夫を見ています。私が今できることは、二度とこの原爆を行なわない事を見ています。近代では、原爆を解説した人がたくさんいます。和田ちは何も知りません。單純に目をそむけてほしくはない。銅、闇、闇の事をつねづねと後世に伝えていきたい。私は今日改めて思いました。



じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/15

私は今日の話を聞いてみて本当に知らないことはたくさんあると思いました。だから私が思っていた戦争というもののよりもはるかに残刻だと思いました。特に一番驚いたことは地表600m地点の温度が太陽の表面温度よりも高いことです。そして地面につくときが3000°Cと聞い750°Cでも暑いと思うのにその60倍だとするととても恐ろしいと感じました。またウラン1kgでこんなに多くの被害者を出したので80kgのウランを投下したら広島どころではなく日本全体に被害がおよぶのではないかと考えました。戦争をやっていい事は一つもないということを改めて知ることができました。亡くなる人も苦しい亡くなりかたをし、生き残った人も原爆症で苦しんだり家族が亡くなるということは精神的にも、つらいのではないかと思います。今までも「戦争は絶対にやってはいけない」という気持ちはありませんか?より強く感じられるようになります。資料で一つ丁寧に説明してくださいましたので、とても分かりやすかったです。戦争の苦しみ、そして私の下の世代にも伝えていくということを教えてくださいありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆はとても恐ろしく、大きなものだったんだな、と思います。また、原爆による被害はとても非慘で多くの人々を死に追いやったと知り、怖くなりました。原子爆弾が落ちた瞬間、カメラのフラッシュの様な強い光が目の前をふさぎ、太陽より高い温度の熱線におそれました。と聞いて、その場面は想像できませんでした。でも、きっとそれは本当に瞬間的な出来事で、何か起こったのか理解できないような状況だったんだろうと考えました。池田さんが^{おこな}行った、川に浮いていたたくさんの死体を運ぶ、という経験は、一生忘れられないことになるだろうと思いました。それもただの死体ではなく、全身がヤけどで真っ赤になり、触れただけでヒツカバはかれ、落ち、傷口からほのきが流れ出る、という状態で、本当に言葉を出ないような見た目だったと思います。広島と長崎で起きた原爆という出来事は、私たちが誕生する何十年も前のことで、だからって関係無いと思わずに強く心に残しておかなければいけないと思いました。また、原爆体験者が減ってきている今、私たちのような世代が、後世に語り断いでいくべきなんだと思いました。原爆の恐ろしさを知れて貴重な体験になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

せんさうのよろこびをになりました。
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆先生の話を聞いて戦争の恐ろしさを感じました。戦争は止めていたいと思います。
思いました。自分が広島に行ったら平和記念館に行こうと思いました。実際に反対側から歩いて
3人の人形を見て、人間ではないと感じた。核兵器で広島を破壊してしまったのですすごいと思いました
スカイブリの高さが7000℃で太陽の表面温度より高いです。当事の人たちは本当にあつた
かったんだろ？と思った。地面3000℃とかは、鉄も溶ける温度で人間も即死という事
は想ひながら戦争は止めたいけど、迷いつなごとく迷うなんが戦争がいい
もう二度と起きまいようにして世界
平和と原貞。



じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は貴重なお話をありがとうございました。

先生の授業は、とても分かりやすく、当時の

生々しい様子が伝わりました。特に、被

爆者などの様子は、自分が想像でき

た、ほどの人間の様子に、原爆は、

二度と落ちてはいけない、と改めて感じ

ました。さらに、助けたくても助けられ

ない、という状況を聞いて、戦争は、攻撃

された時より、後がつらいのだなと

思いました。ビデオでは、市民の人

人の表情が、つらさを物語って

いて、心が痛くなりました。この授業を

通して、何人も悲しむ人を出す

戦争は絶対、これからも無くなれ

うにしたいと思いました。



じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の話を聞いて感じたことは、原爆でけがを負った人もいたへんたが、その後無事だった人でさえ原爆の影響をうけて(?)いることを聞いて原爆のあたえる影響はとてもすごいと思った。さらにも、太陽よりもあつて、水より水には蒸発しているようなものが毎秒40mで来ると言っていた人がいたと想いました。その太陽よりも高い熱を出すものと外國の国々がたくさんもっているとして、アーティモスからもっていってはダメだと思いました。今までいいようにいた人たちがほんの一、いや二、三回で死んでしまったもう悲しいことはとてもないものだと思いました。他國は今回の話の「トルボー」の100倍と聞いてこれは地震などの自然災害では遠い日頃から供えていくことができないものなのでとてもこわいものだと思いました。今回原爆の話を聞いて生きありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は前半の目の前が真っ白になつたといふところから驚きました。それから歩いていくとやけとてひるがだらんとなるのが想像がつかないほど恐しいものだと感じました。街の中に死体が人は必ずいた、ということのもと残酷しいと思いました。軍の人は何日間も今では考えられないことをして逃げ出したりする人はいながたのかなと思いました。戦争は相手を倒すためにいろいろなことを考えることが多かったやだなと思いました。原子爆弾は太陽の表面温度と同じくらいと言つていて、42度くらいのあら、3度も熱いのに6000℃もあり人間が炭になるというのがゾッとしました。戦争はたくさんの人気がせなり、たくさんの人人が被害をして、とてもやで一番誰もが嫌うものだと思いました。身近に感じてこの今の時代は前の日本と比べたらとても平和だなと思いました。



じゅこう 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の部を開いて原爆は原が
深いんだなと思いました。さらに原爆の
想いや戦争の想いも知りました。
原爆は直徑約5kmを焼滅するほど
やがありそれだけで多くの人が犠牲
になってしまったことを知って悲しくなりました。
今後は戦争でなくなります。多くの
ことをよく見て自分の命を大切に生き
ていこうと思いました。原爆で被害にあった
人は皮膚がはがれたり、骨がむき出したり
なっていた遺体もあったそうです。とてもひやいそう
だなと思いました。このように原爆を落とされ
てしまった人は5人に2人もいたそうです。
僕はこのように小さくなってくと、人が死んでく
いたということを実感しながら命を大切に
していましたとも思いました。原爆の想い
や、ではなくて、また人のことにつけてよく分か
りました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

*名前は裏面に記入してください

池田先生の話を聞き、改めて原爆の恐ろしさを知りました。兵隊さんが移動をしている時に真っ赤に焼き焦がれた人々が「助けて」と言っているところを救えず、任務を果たすために「ナガヒナギ」うでを斜めに引いて下げる、やぐりと走っている人々の光景を見なくてはならないと思い、とても悲しい想いになりました。資料館に訪ねた池田先生のお父様が展示されていました体の溶けた女性をお目にした時、「綺麗すぎる」という一言を言いましたが、やはり戦争を体験された方は本当に酷い光景を見たのかなと思いました。約4トンで7000℃の物が落ちてくると聞いて、とても恐ろしくなりました。しかもその中にはウラノという小さい物体で、たったの1kgしかない物が広島全体を破滅させる物があると聞き、とても驚きました。最後に池田先生のお父様のメッセージビデオを聞き、思わず涙が出てほらほらしました。貴重な時間をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は 今回の 原爆先生の 授業を通じて、原爆の
恐しさやひさしさを学んだ。広島に原爆が落とされ、いつもの
楽しい日常生活が一瞬で消えてはい、人が灰となりました。
町があとかたもなく、さら地となり、池田先生の父の当時の話を
聞き、鳥肌が立った。父 池田義三さんは当時 17歳で軍に
入り、日本の兵役は 20歳^{さい}からで、日本の状態がいかにも厳しいもの
在のが伝わってきた。父は 市内の消防を手伝うれていた ブラックで
移動中に、全身べたくは水あがった人や、灰には黒くなつて
はいた人や、目、鼻、口が取れて歯がむきだしになつた人が、原爆で
こうも人を変えようかと思つた。さらに、原爆候補都市に今私たち
が住んでいい横浜が候補に入つて、少しこととした。原爆は、爆発
時に、中心温度が約 100万°Cで表面温度が 7000°Cで、太陽の表面
温度と一緒に、真上から太陽が落ちてくると見うつ。もし自分がそこについたら
恐怖で身動きができないと思った。いま核を保有している国が 1石もあり。
今の時も油だんはでないといふ。



原爆先生の特別授業を受講して

卷

名前は裏面に記入してください

私は話を聞いていたときに、T=7は「恐怖で震えが」とまりませんでしょ。本当の現場ではT=1の時に怖くて、もし私がその場にいたら絶対に動かさないで違うと思うほどでした。手を1=3うとしてもず3ずると、17が41でしまうことや人があつてすみのようになってしまってこれが「衝激的すぎて1には考へることができませんでした。

実際の様子を先生が"やってくだ"さ, たり. マイクを
うまく使, て 落下してときとB29が"近づいてき"た
ときの音を再現してくだ"さ, たり, 今まで"大変だ", た
んだ"だよー"ぐらいいしかり思つてたから, たことか"一瞬で"
ひ, くり返されるほど"怖が, た"す。こんなことが"現実に"
しかも日本で"おこってい"たことをあらためて実感させら
れました。

今とでは、今は当時のひさんばほの通りに分かるところ。
で"きつねだけれど"、話をきいていたけれども感じた恐怖感は
自分に伝えらうるものだ。全て伝えたいが「さむい」
といったら思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日の講演を聞いて、原子爆弾の怖さだけではなく、戦争そのものの怖さを改めて感じることができました。

前半の部分では投下された当時の様子などを聞くことができました。投下された時の音を再現したもの聞き、さうしてからして今後の開拓に集中できませんでした。でも実際は、もともと音は大きかったと思うし、それに加えて衝撃波、熱線があり、たしかにありました。今日は想像できないほどの大音量を持ったんだと思いました。爆発後にできる球体のようなものが太陽の表面温度より熱いことや、衝撃波の速さが音が伝わる速さよりも速いということに驚きました。最後の映像で、資料館をみた池田義三さんが「こんなに生やさしくはなかった」と言いました。それはどう當時の広島が苦しく、ひどいものだったことが、その一言からとても伝わりました。実際に被爆した方はどんなふうなことを思ひます。だからこそ、講演を聞いて私たちがこれからの人間に伝えたいだけれど、「なりなに」とだと思ひます。この出来事を流すにはしっかりとこれからに伝えていかなければと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

前半のところで真険についていたから、二ヶ。

原爆が落ちて行った時の状況の表現がすごく驚きました。

遠回しでも良いから言っておいてほしかったのです。

(大きい音に驚いたのもあって内容がしばらく入ってこなかったのです。)

後半とか記憶がありませんがありません。

その場に居た池田義三さんの立場に立ってその時の状況を細かく話されていていたので分かりやすかったです。

原爆の落ちて来た位置や高さ、温度を太陽やスカイツリーなど

身近なものと比べて説明されていたのでそれも理解しやすかったです。

でも、ウランが何にか知らなかったから、よく分からなかったです。

今日一番印象に残った原爆についての展示物に対する感想。

「きれすぎると」というのを忘れて、修学旅行で行く。

戦争についての展示館を見学したいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は今日、この授業でお話を聞いて、最初に映った題名の「7000℃の少年」の意味がよく分かりました。池田先生のお父様の実体験ということだったので、資料などから読み取るよりも分かりやすく、実際にその光景を想像でき、より理解が深まりました。また、「ゴルフボール1個くらいのウランが核分裂するだけで広島市を焼き尽くし、大陽よりも熱い物体を作り上げてしまう」ということを聞き、とても驚きそして恐いと思いました。他にも、原爆が爆発した瞬間の熱線で「人が消えてしまう」という話を聞き、信じられませんでした。今日、聞いた話をもとに3年生での平和学習を充実させたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆の恐しさがよくわがりました

広島の天気が悪かったら多くの人たちが逃げ込んでいた

で、何より怖かったのがなと思いました

原爆みたいに人が死んでしまう出来事があるから

ければいいのにと思いまして



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆の話を聞いて自分も知らなかつた深いところを知れました。私は演劇部でよく原爆や戦争の話を朗読したりしていて、悲惨であったり、どこにおちてきたのかなど他の人よりかは分かるつもりでしたが、そんなことはありませんでした。なぜそこに落とされたのか、落ちてきた爆弾はどういうものなのか深いところまでは全く知らないで、日本本当に聞けてつかたなと思いました。

私は朗読をするたび、現場の状況を想像します。朗説のページを何枚めてもすと悲惨でさんざん文ばかり。それを読めば、想像するたびにも怖くて絶望的なのに、原爆を体験した人は言葉にありわせないくらいの苦しみだったんだうな思います。池田先生が本を読み聞かせてくれた時、目をつむり、身をよじるなどよくざんぐでした。それに、爆弾が落ちる映像を今日以外にも社会の授業でビデオを見ていて、その威力に涙がでそうになりました。こんなのがかかるはずがない。無差別すぎる。そう思いました。

でも私はそれをやりかえとうと考えて、心を氣に学ぼうとは母國にはほりを思いました。またこんなことが起きないよう、こんな悲惨な記録を忘れないようおう語ります。池田先生はすごいなと思いました。私も朗讀でたくさん的人に伝えたいなと思います。今日はありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の特別授業を受講して、自分が想像していたよりもはるかにひどくてどうしてこんなことをしたのだろう?と思いました。原爆を落とす候補都市に自分が知らない都市があったし、長崎や広島以外の京都でも落ちていたら、今ある日本の文化はほとんどなくなっていたのだと思いました。今日、候補都市を選ぶための基準を初めて知りました。扇状地や山にまわりを囲まれているなど被害が大きくなるようにしたと思うとひどすぎるなと心を痛めつけられました。

広島市の人口の7割近くが被爆し、助かっている人も放射線による、こういしょうで今も苦しんでいて戦争の怖さをまた感じることができました。とくに、60kg入っていたウランのうちのわずか $\frac{1}{60}$ の1kgでここまでひどがったのならもし、60kg全てが核分裂を起こしていたらと思うと想像することもできませんでした。

だからこそ、私は今日、きいた事を忘れずに生きていかなければいけないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は怖いものだというイメージは前からあつたけど、今日はお話を聞いてもっと怖く感じました。特に音は今までに聞いたことがなく、ゴードンが爆発したときの音は言ひ表せない音でした。爆発したときの音はソーラーという鳥肌が立つような感じで、80℃の火を通してあんなに恐ろしい力は、実際はちよこ恐ろしかったんだと思うなと思いました。また、皮膚がただれてる人々や、やけどのようないやの遺体など、今では考えつかないような状態で、でも、そんなことが実際に起っていたなんて原爆の威力を知りました。見た人もその状態になってしまふ人も辛く、苦しむだろうと思います。皮膚がただれてるだけ、経験した=810,000人とも痛いことは絶対にわかるし、死んで人を見たとき、和だ。75%怖すぎて逃げてしまうかもしれません。それでも、助けなければいけない方々がいるんだよなって思いました。原爆につけて、今まで「爆弾のもの」とか「核のもの」しかわからなかつたけど、今日のお話を詳しく聞かせてもらつて、原爆に対する理解が深まつた気がします。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日の原爆先生の話を聞き、改めて原爆の恐ろしさ、人々を知ることができました。

私が今日の話を印象に残ったことはまず、原爆で受けた熱線の熱です。人間の内臓などの水分が一瞬にして乾いてしまうほどの威力があることに驚きました。熱線を受けた人が黒(か)たりには、写真を見て心が痛みました。また、原爆弾の表面の温度が太陽よりも熱い 7000°C にもなることを知り、それが上空 600m にあることは想像できないほど恐しいものだ、感じました。

次に印象に残ったことは、被爆された方の姿です。先生の話では、顔面が大やけどをしていたり、皮膚が溶けていたり、人間とは思えない姿、とおっしゃって、それがどんな姿なのか私は想像できませんでした。先生の話で兵隊さんが被爆された方を助けようとして、皮膚がズリズリとむき、肉が見えた、と聞き、私が思っていたよりも、と、恐いもので本当に、原爆というの何危険で、二度と使つてはいけないものだ、と、心から思いました。

今日のお話は、どれもひどくて、今では考えられないほどひどいものでした。これから原爆を体験した方の話をひととこ聞ける機会が少なくて悲しくて、今日の話をちゃんと受け止め、私たちは、後世に語りつけていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の話を聞いて、とてもタメになりました。

池田先生の話もとても聞き取りやすく、はくり上^{カイ}おりあり。

あきたり 100分間でした。

よくに一番いんどうにのこつたのは、リトルボーイが広島に落とさ

れた時の かくさきの音、リトルボーイが爆発した時の音がいつまでもうつります

左。

先生の父の義三さんの体験したつらかった話は、体験してない

僕もいろんな感性があれできました。人の顔やひづれ熱^{ヒート}、

溶けてたれて人形たりながらの遺体のきずりから虫がいたのを聞いた時は、

すこしはきそらになりました。

原子爆弾の投下都市の中に横浜が入ってたのにびっくり(左)

左。

リトルボーイの熱と衝撃波のけりよがいすごい事がかりました。熱が発

生するとい、空気がろくらみ、そのろくらみが衝撃波^{ヒートウェーブ}をはいたしました。

その衝撃波が音速以上の速い事はで、ありました。

僕は先生の話を聞いて、原爆の事にせよつかいあわせて、自分も原爆の事をうへよう

思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受け、原子爆弾が“された”けれどもさういふものなのかと知った。原爆、という言葉は私も何度も聞いたことがあるがどういふものなのか、然全知りていなかつたし、知ろうともしていなかつた。でも原子爆弾が爆発すると太陽よりも高温になり、人間は体の水分がなくなり、衝撃波で粉々になつてしまうと聞き、本当にさういふものだと思つた。また、私は話を聞いただけなのにすごくこわいと思ったが、経験した方々は爆発で街がなくなり、普段の生活がなくなり、たいへんでつらい日々を今でも過ごしていると考へると胸が痛んだ。体全身の皮膚が剥がれていますのに、痛いのに、助かりたいと思うのか、死んだ方が楽になるのではないか、と議問にのこつた。

私は今日、あらためてもう二度と日本に、世界にそんな被害が起こらなければいい、そう思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回話を聞いて原子爆弾が落ちてくることがとても怖くおそろしいことだと改めて思った。今までに原爆の話を聞いたことは何度かあるだけれど、こんなにリアルな話を聞くのははじめてだ。たのでざく心中に残った。特に、本の内容を読んでくださっている途中で原子爆弾が落下するときの音が流れてきたのがとても怖かった。本の内容で被爆した人を助けようとしたときに皮膚がむき出でて手と手がすべて助けられなかつたと言っていたのか、被爆をした人は痛みよりも助けてほしい気持ちや生きていたい気持ちが強かつたんだと分かった。また、原子爆弾が落ちたけれど生き残って皮膚が黒くなってドロドロの液が出てはからうも生きていた人が一番痛がつたりしてつらかたんだろうと思った。原子爆弾を幕とする候補になっていた横堺と新潟はどのような理由で候補に上げられていたのか気になつた。また、候補に上げられなかつた県はなぜ候補に上がらなかつたのか知りたいと思つた。今の若い人達は広島・長崎に原子爆弾が投下された日や最戦の日が分からない人が多いとニュースになつたけれど、こんなに怖くておぞろしいことを忘れてはいけないと思うし、二度とこのようなことが起きてしまいけないと思うからも、といしなな人に原爆のはなしを伝えていてほしいと思った。またこれから第二次世界大戦のようなおぞろしい戦争は起きないでほしい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話を聞いて爆発の大きさやなぜ広島がねりられたのかわかりました。原子爆弾投下の条件が直径5kmを超える平野で空襲にあっていなし都市ということでした。爆発してからは熱線泉、衝撃波、放射線などて人や物が中心部に近づくほどその形があがりなくなってることでより爆発被害の大きさがわかりました。60kgのウランがたった1kgしか爆発けながらのに大きな範囲で太陽と見える温度であったことがわかりました。この言葉とこれからネトウエイとしてまりの人やほかの国の人にも原子爆弾のおそろしさなどを教えていけたういいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を受け、池田さんと冒頭に、

お父さんを「私」として読み始めたので、本当に池田さんの
お父さんがお話をされていました。終止間くことねでござました。

そのお話の中でも、やはり被爆者のお話の中に出てく。

その現場を見た人で、生き残った人はどうなっておられかく、

生々しく表現されていて、聞こえる側も容易に想像で
3つを並べました。特に、肌がはがれ落ちるよう。という表現

は今まで見たことがないのに、初めて見たら、どんな気持ちになりますのか

うう。と考えさせられました。

そして原爆の「リトルボーイ」、「ファットマン」、玉落としにあたり、日本
中の範囲の中、横浜が候補のAに入りました。これで驚きました。

もし、広島ではなく、横浜に落としたら、と考えると、広島・長崎の人
はどれだけ苦しかったのかうなづかせます。同時に、なぜ外国は
日本で原子爆弾の実験場所のようになってしまった。広島だけでも、
14万人の人を殺すことができたのです。15世紀になにも人の命
を、そんなことを殺すことを生むのだと。と思ふました。

そして、現在で二つ目にかかると、多くの被害をだした、核兵器
はまだ保有していない。核には全く理解できませんでした。1945年、
8/8・8/9のことを、もう一度の2.一刻も早く、核からは世界へつなげたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して、あり、

今までさよみがなく知らずとしながら、たけと、

今回いろいろなことを知ることができました。

池田さんがおはなしの途中にクイズなどと
れてくださり、楽しく授業をうけることができま
した。池田さんはおはなしの途中何回も
被爆者のけがの状態をくわしくはなしで、
一瞬のうちにはうなってしまった原子爆弾は
おそろしいものだとわかった。

一番印象に残っていることは、人間はあたため
てこ夕と同様だったあるといふことです
す。熱の中、そつていた人たちのはづかたたご
うなと異いました。

昔の人々の思いを未来にもつなげたいと思
ふよう、社会にこう伝えたりさせたりと思
うでした。いつもよりも世界が平和であるこ
とにと見てみたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は今日の話を聞いてまず最初に思いました。原子爆弾の恐
ろしさが分かりました。B29の爆撃機が「トリルボーン」という名前
の爆弾でした、たつのB29のうえで広島の町があつたという間に
なくなってしまったことが話を聞いて分かりました。映像を見た時一
瞬にしてそこはあ、平和が奪われてしまったそれが今も開いていて人
は残、たまのひす。小さい子でも爆弾の放射線や衝撃
波で命が無くなってしまうのです。僕は2のようが2とが二度と
ないようしなければなりません。7000°Cの火もたる中心部
と3000~4000°の中で必死に生きようとすると見
ていた他の人や実際に爆弾が投下されたあとに逃
げた人の見たまわりの様子や原爆について勉強する
が止まませんでした。実際に原爆というものがこの世の中には
あることはいけないものだと分かりましたが決してそれが
できました。他の爆弾アトマンやペンブキン爆弾の
2とも同時に分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は今回の授業を受講するまで、本当の原爆の恐ろしさを知りませんでした。今ではなんとなく「原爆って怖いな」「もう原爆が落とされたければいいのに」と思っていて、それで終わっている自分がいました。今ではそんな自分がとても恥ずかしいです。今回の先生の授業で、僕が特に衝撃を受けたのは、先生のお父様の体験にありました。たくさんのたくは生きている被爆者の方の描写です。今僕が生きている現代では想像もできない程の悲惨な状況であったことがよく分かりました。「皮ふがいたたれて」「鼻や耳などの区別がつかない」「傷口にうじ虫が大量にいた」実際に立ち会わないと、その悲惨さは全て理解できず、歌ではありませんがそれでも僕の心の中二十㍍ほど程の衝撃を手立ててくれました。この話を聞いて、僕はこのおなごとが二度と起きこなしてほしく改めて強く思いました。現在では原子爆弾より威力が大きい水素爆弾なるものがあるそうです。いかなる理由があってもその爆弾は落としてほしくないと感じます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の話を聞いてやはり原爆は恐いものだと思いました。原爆がどういうものかはいたたちは知っていたけれど、その後の人々の様子や、町の様子などくわしい事は知らない事が多かったのでとても勉強になりました。たとえば全身ヤリビを負い、肉がはがれ骨まで見えていたことは聞いただけでも痛々しく、じれり悲惨だったかがわかつました。また、遺体を処理する人たちもその悲惨な姿やにおいでおう吐したと大変だったのだと知り、びっくりしました。原爆の投下は広島と長崎だったけれど、横浜なども最初は入っていった事も初めて知りました。原爆の投下によって戦争が終わったのでこれは正しい事だという人もいるけれど、多くの死者がでた事には変わらないので、本当に正しかったのかと疑問に思ふし、二度と起きるのはいけない事だと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今まで原爆についてそんなに深く教えていたた原爆
は危ない物だと思いました。そして原爆では多くの人が死んでい
る、悲しいです。今では原爆の体験者は少な
ないです。その中で話を聞けることはすごくいいことだと思いま
す。原爆は軌線、衝撃波、放射線があります。衝撃波とは
原爆があちこちに飛び散る波のことです。僕はこれを頭に近づけて他の人
に広めたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生の語、聞いたおもしろい原爆が
おち自日のことを書いて集め思ってみて、人に頃
たては、先生が話していくと、原爆のおもしろい
や、この世に原子炉はなくてはいけない改
めて思いました。先生の父はおもしろいでした。119
とくべつ3年生の2班の班長まで、7年生の父の
いれいをもつていて、きれいなが、広島で
遺体をやいたりして、いろいろなめりあいで
したいを発見して出でてから私がやがる、と
おじおじしてしまってとてもおもしろいでした。
広島の人口の40%の人が死んで
75%の人口がひそく生き残っています
すうぢだと思いました。

またこのようにたくさんの人々の命をなくして
お原爆はなくていいと思いました。それ



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私が原爆先生の特別授業を受講して感じたことは、原爆のいかが自分の思っていたよりも強く、被爆者たちの姿がとても非慘だったことです。特に、たった1kgのウランが反応していくのに、大きな被害が出たということや、被爆者の体がまっ黒になっていたり、皮かはがれていたり、虫がくいつてしまっていたところや、爆心地の近くにいた人は、いっしゅんで蒸発するように消えて、黒いあとだけが残るところが印象に残りました。

今日の特別授業を通して私は、原爆はもう二度とくり返してはいけないことを、と思いました。そして、この原爆があったことやとても非慘なことを次の世代に伝えいかなければいけないと思いました。